

東海北陸

Branch Report Vol.53

TOUKAI-HOKURIKU

2010・August



有松の町並み



社団法人 日本建築積算協会・東海北陸支部

THE BUILDING SURVEYORS INSTITUTE OF JAPAN from Toukai-hokuriku Branch
<http://bsi-th.052e.com/>

支部長あいさつ 教育について思うこと 支部長 小野 徹郎	1
平成 22 年度 東海北陸支部 通常総会の報告	2・3
平成 21 年度 収支決算書	4・5
平成 22 年度 事業計画	6・7
平成 22 年度 建設技術研修 講師 西田 彰	7
平成 22 年度 東海北陸支部役員・委員	8・9
公益法人か、否か 総務財務委員会 委員長 川辺 清次	10
会員委員会だより 会員委員会 委員長 佐藤 佳久	10
福井・石川・富山の講習事情 北陸部会 明峰積算事務所 宮西 繁	11
建築積算士補が全国で 255 名 教育委員会 委員長 藤井 正王	12
資格制度委員会報告 資格制度委員会 委員長 林 進	13
設計審査委員会だより 設計審査委員会 委員長 西田 彰	13
データベース委員会だより データベース委員会 委員長 植田 隆明	14
ホームページ委員会だより ホームページ委員会 委員長 佐野 洋治	14
平成 22 年度 講習会予定表	15
建築積算士（建築積算資格者）更新講習会のご案内	16
積算業務の大切さを知る (株)三四五建築研究所 取締役 諏訪 淳	17
就職体験 インターンシップを終えて 兼氏 峻介	17
女性スタッフ紹介 (株)二葉積算 名古屋支社 五島 瑞穂	18
「計られた値」 東海北陸支部 顧問 杉浦 譲治	19
建築コスト管理士の皆様へ 2011年に更新を迎える方のための、CPD単位取得について	20~22
北陸部会だより 北陸部会 笠谷 正	23
静岡部会だより (株)アイピーエス 積算部 藤曲 充信	24
岐阜部会だより (有)エムス積算 松岡 征紀	24
株式会社 大成出版社	25
財団法人 建設物価調査会	26
協栄産業株式会社	27
日刊建設通信新聞社	28
山田印刷所	28
編集後記	29
TOMOデータサービス株式会社	30

教育について思うこと



日本建築積算協会
東海北陸支部長
小野 徹 郎

我が国も日本チームの活躍もあって、南アフリカで開催されている FIFA WORLD CUP に熱く盛り上がっています。大会前はマスコミも含めて熱烈的なサッカーファンまで岡田監督にブーイング状態であったにも拘わらず、今や岡田監督様々になっています。またゴルフ界では藍ちゃんがアメリカツアーで頑張り、世界ランク 1 位を獲得しています。これもアメリカに渡って成果が出ない中で、アメリカには向いていない日本に帰るべきだなど、プロも極評していたのを思い出されます。同じことが政治の世界でも見受けられます。我が国では政権交代のない中、戦後何十年間の間に貯まった膿と淀みにうんざりしてやっと政権交代したにも拘わらず、数ヶ月で失望したとして首相の退陣を求める始末です。いつから日本人はこんなに成果を短兵急に求める国民性になったのか。我々はもう少し我慢が出来る国民であったと思うし、性急に結論を求めすぎているのではないかと思います。

それにしても華やかな WORLD CUP が行われているアフリカのナイジェリア、マダガスカル、ソマリア、マリ、エチオピアなどで起きている、殺戮と飢餓の救いようのない状況を日本人のどれだけの人が認識しているのでしょうか。意味のない紛争、戦争、理由のない民族対立、利権争い、それに乗じての国のトップまで含めた不正、汚職など、数えればきりがありません。そこで暮らす国民の多くはそれが当たり前で、その状況がいかなる力関係の中で生じているかも判らず、日々の糧のために刹那的な殺戮を繰り返し、また繰り返さざる終えない現状に、一般国民は声すら上げられず難民となってさまよっています。同じ人間としてこの地球上に生まれてきてあまりにも違いすぎる運命。この世界不況の中、地球上で展開する豊かさと貧困、搾取する側と搾取される側、平和と戦争、それに伴う生と死。その光と闇の違いは殆ど想像の域を超えています。

こうした世界を覆う影に光を当て、闇を切り開け

るのは教育だと強く思うようになっていきます。影をもたらしているのは国自体の発展の歴史と政治の貧困にありますが、その根源は教育の貧困さにあると思います。教育で直接飢えを満たすことは出来ません。しかし教育の貧困さは国、社会の貧しさに繋がります。教育とは知識の授与が基本ですが、教育を受けることにより、自分と他者との位置関係が理解でき、自己を超えた相対的な判断が出来ることとなります。相対的な位置関係を理解した上で自分の価値観が創造でき、自らの意見を主張できるので。民主主義はそうした状況下でなければ定着しません。逆に独裁国家は、民衆の無知につけ込むことでしか成立しないものなのです。そして教育は国家制度の中では多くのお金を必要としないのです。教育をする側の情熱と教育を受ける側の意志が結びつけば実行出来ます。ただ難しいのは教育が即効性のあるものではないことと、誤った教育は負の遺産になりうることです。教育を進めたからといってすぐに国が豊かになるわけではありませんし、お腹が満たされるわけではありません。その効果が現れるのには長い時間が掛かります。しかし正しい教育の成果は確実に社会に積み重なっていきます。

日本が明治維新の時、列強の圧力に対して対等に礼節を持って対峙し得たのは、その教育レベルの高さにあったと言われています。日本に来た外国人は日本のトップだけではなく庶民レベルの礼儀正しさと教育レベルの高さに驚いており、いくつかの書物に讃辞の言葉が残っています。江戸時代の寺子屋制度などがその基盤になっていたと考えられています。いずれにしても教育の持つ力を示したものでしょう。

今世界不況の中で産業界はあえいでいます。積算業界もそうでしょう。しかしこうした状況では目先のことに力を注いでも、ない袖は振れないのではないのでしょうか。こうした時こそ次に備えて、知の部分の蓄え大きくしておくことが大切です。今、積算協会が次世代に対して積算教育を発展させようとしていることは重要な課題ですし、着実に根気よく押し進めることで積算の重要性が社会に定着していくものと思います。この困難な状況においてこそ、積算士、コスト管理士の重要性は増えています。我々にはそれに相応しい力量が求められています。この厳しい冬の時代にこそ、力を矯めて、来たるべき春に備えたいと思います。

(椋山女学園大学教授、名古屋工業大学名誉教授)

平成22年度 東海北陸支部通常総会の報告

1. 日 時 平成22年4月23日（金） 16:30～17:30
2. 会 場 ホテルプリシード名古屋 芙蓉の間 名古屋市中区栄4-6-1
3. 出席者 当日出席者30名 委任状120通 計150名
4. 司 会 東海北陸支部 佐野洋治副支部長

一、開会の辞～副支部長より開会の辞 一、支部長挨拶（要旨）

本日は、平成22年度支部総会にご多忙中にも拘わらずご出席いただきありがとうございます。また、本部から川村理事に出席いただきこの支部総会を開催できましたことをまづもって御礼申し上げます。



支部長挨拶

建築業界は、世界不況の中で難しい状況にあり、世の中は、何でもかんでも安ければよい風潮となっています。しかし、デフレの中から脱却するには、適正な評価による適正コストとそれによる取引が必要となってまいります。

その中で、建築に関わるコストには難しいものがありますが、適正な評価・適正なコストが出せるのはわれわれ積算協会だけであるという自負が必要ですし、製造とコストの関係を十分にわきまえた上でその責任を果たすことが必要でなっております。

今年度の東海北陸支部の活動は、積算関連資格の社会的認知・電子情報を使用した会員サービスの向上・学校教育の積算教育を推進し、次の世代を育てる活動を行います。また、もうひとつは、支部財政の健全運営を心がけ

て、支部活動を進めてまいります。

建築界が活発化し発展するためにも積算業界も新しい方向で活動していかねばなりません。また、会員皆様も一丸となってそれに目を向け活動していただきたいと思っておりますし、支部としても会員皆様方のお手伝いができると思っております。

今後のご支援をお願いし、総会に当たってのご挨拶とさせていただきます。

一、 来賓ご挨拶

本部より川村理事にご出席頂き、ご挨拶を頂戴致しました。



川村理事

一、 定足数の確認

出席会員数30名 有効委任状120名
計150名。

議決に必要な定足数は満たしており、総会が成立していますと事務局より報告。

一、 議長選出

小野徹郎支部長を指名。

◇ 議事録署名人の指名

議長より議事録署名人として林進氏と松本利治氏のお二方を指名。

一、議案審議

■第1号議案 平成21年度事業報告承認の件

川辺総務委員長から平成21年度事業報告の説明があり、審議に入る。

異議なしの発言があり、満場の拍手で第1号議案を承認した。



審議の様子

■第2号議案 平成21年度収支決算及び監査報告承認の件

道家事務局長から平成21年度収支決算報告の説明があり、審議に入る。

会計監事として塚田律夫会計監事から収支はいずれも正確であると報告があった。

異議なしの発言があり、満場の拍手で第2号議案を承認した。

■第3号議案 平成22年度事業計画(案)に関する件

川辺総務委員長から平成22年度事業計画(案)の説明があり、審議に入る。

異議なしの発言があり、満場の拍手で第3号議案を承認した。

■第4号議案 平成22年度収支予算(案)に関する件

道家事務局長から平成22年度収支予算(案)の説明があり、審議に入る。

異議なしの発言があり、満場の拍手で第4号議案を承認した。

■第5号議案 平成22年度支部役員の退任および補選(案)に関する件

川辺総務委員長から平成22年度支部役員の退任および補選(案)の説明があり、審議に入る。

異議なしの発言があり、満場の拍手で第5号議案を承認した。

■第6号議案 東海北陸支部規程の改訂(案)に関する件

川辺総務委員長から東海北陸支部規程改訂(案)の説明があり、審議に入る。

異議なしの発言があり、満場の拍手で第6号議案を承認した。

一、会員表彰

昨年8月に急逝された支部役員の故松岡貴敏さんのご冥福をお祈りし黙とう。

支部役員・委員として支部活動に多大な貢献をされた故松岡貴敏さんに小野徹郎支部長より感謝状を贈呈。



会員表彰

一、閉会の辞～剛谷副支部長より閉会の辞

総会終了後に懇親会を開催し、愛知建築士会会長市川三千男様を始め多数の来賓のご列席をいただきました。

来賓を代表して市川三千男様よりご挨拶を戴きました。



平成21年度収支決算書

自 平成21年4月 1日
至 平成22年3月31日

[収入の部]

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異
会 費 収 入	160,000	140,000	▲ 20,000
第一種賛助会員収入	160,000	140,000	▲ 20,000
一般事業収入	5,076,000	4,731,250	▲ 344,750
教育事業収入	3,976,000	2,898,964	▲ 1,077,036
研修会収入	540,000	458,000	▲ 82,000
講習会収入	3,436,000	2,440,964	▲ 995,036
その他事業収入	1,100,000	1,832,286	732,286
調査研究受託収入	0	737,100	737,100
会員集会収入	400,000	397,000	▲ 3,000
幹旋図書収入	700,000	698,186	▲ 1,814
その他収入	540,000	384,442	▲ 155,558
受 取 利 息	20,000	1,442	▲ 18,558
雑 収 入	20,000	23,000	3,000
支部報告収入	500,000	360,000	▲ 140,000
支部運営金収入	6,875,000	7,025,000	150,000
一般事業運営金 (特別事業運営金を含む)	6,875,000	7,025,000	150,000
当期収入合計 (A)	12,651,000	12,280,692	▲ 370,308
前期繰越収支差額	3,651,263	3,651,263	0
収入合計 (B)	16,302,263	15,931,955	▲ 370,308

[支出の部]

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異
一般事業費	5,277,000	5,229,718	▲ 47,282
会誌発行費	466,000	356,767	▲ 109,233
支部報発行費	466,000	356,767	▲ 109,233
教育事業費	2,638,500	2,420,140	▲ 218,360
研修会費	50,000	167,940	117,940
講習会費	2,588,500	2,252,200	▲ 336,300
その他事業費	2,172,500	2,452,811	280,311
会員集会費	700,000	473,517	▲ 226,483
幹旋図書費	595,000	621,900	26,900
調査研究費	877,500	1,106,049	228,549
調査研究委託費	0	251,345	251,345

科 目	予算額	決算額	差異
特別事業費	1,740,000	1,426,753	▲ 313,247
試験費	489,000	418,361	▲ 70,639
会場費	200,000	151,830	▲ 48,170
報酬・謝金	70,000	81,000	11,000
旅費交通費	10,000	14,240	4,240
通信運搬費	0	5,800	5,800
その他準備費	209,000	165,491	▲ 43,509
更新講習費	1,251,000	1,008,392	▲ 242,608
会場費	197,000	192,970	▲ 4,030
報酬・謝金	344,000	254,000	▲ 90,000
旅費交通費	217,000	247,510	30,510
通信運搬費	113,000	6,650	▲ 106,350
臨時雇賃金	63,000	63,000	0
その他準備費	317,000	244,262	▲ 72,738
管理費	5,634,000	5,969,990	335,990
会議費	400,000	391,722	▲ 8,278
旅費交通費	359,000	336,820	▲ 22,180
通信運搬費	650,000	596,031	▲ 53,969
消耗什器備品費	820,000	925,239	105,239
消耗品費	150,000	177,312	27,312
広報費	30,000	18,900	▲ 11,100
水道光熱費	72,000	52,487	▲ 19,513
賃借料	1,048,000	1,047,816	▲ 184
外注費	1,705,000	1,855,000	150,000
諸会費	180,000	176,625	▲ 3,375
支払手数料	70,000	42,315	▲ 27,685
雑費	150,000	349,723	199,723
当期支出計 (C)	12,651,000	12,626,461	▲ 24,539
当期支出差額 (A-C)	0	▲ 345,769	▲ 345,769
次期繰越収支差額 (B-C)	3,651,263	3,305,494	▲ 345,769

貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
現金	29,804	正味財産	3,482,581
普通預金	3,265,610		
在庫	10,080		
什器備品	177,087		
合計	3,482,581	合計	3,482,581

平成22年度 事業計画

(社)日本建築積算協会 東海北陸支部

I. 支部事業活動方針

厳しい建築業界の現状を背景に積算協会も財政問題を含めて多くの問題を抱えている。本年度は従来からの活動の継続を基本としながらも見直しを行い、財政基盤にふさわしい活動内容とする。具体的には以下の事項を支部運営の基本として活動を行う。

- 1) 従来の活動の継続
- 2) 積算関連資格の社会的認知と実質的な活用についての周辺整備
- 3) 電子情報を利用した会員サービスの向上
- 4) 学校教育への建築積算の推進
- 5) 支部財政状況を踏まえた支部事業の運営の見直し

積算資格の社会的認知を高めることは、積算資格に対する需要を引き起こし、ひいては建築積算士(建築積算資格者)、会員増加に繋がり積算協会の基盤を固めることになる。また会員へのサービス低下に繋がらないよう配慮しつつ、電子情報の多角的な運用をもって財政的な軽減に繋がる見直しを図る。支部の各種行事についてもこれまでの慣習にとらわれず簡素化出来るところは簡素化し、会員各位のご理解を得ながら、実質的な内容低下に繋がらないように活動を行う。

II. 支部委員会活動

◇総務・財務委員会

- ①協会に新しい魅力を創出し、会勢拡大に努める。
- ②各委員会との調整を図る。
- ③会計処理の整備、予算管理の推進、事務局業務の効率化とコスト削減を図る。

◇会員委員会

- ①会員・賛助会員へ情報提供、サービスの寄与及び親睦を図る事業を行う。

②現場見学会、会員交流会を開催し、会員相互の親睦を図る。

③関係諸団体との技術交流を深め、技術力の向上を高めるための活動を行う。

④メールアドレス帳の整備を行い、会員への情報発信がメールのできる仕組み作りを進める。

⑤法人会員の増加を図る。

◇広報委員会

①会員・賛助会員への情報提供誌として充実した支部報を継続して発行する。

②会員交流の場として、会員投稿ページを設ける。

③会員以外への広報活動の充実を図る。

◇ホームページ委員会

①支部ホームページのアピール力を向上し、親近感を持たせる。

概要表示を完成し、活動項目ごとの閲覧調査実施の検討を図る。

②会員サービスの充実を図る。

広報・リンクの仕組みを検討し知名度の向上を図る。

◇講習委員会

①各種研修会・講習会を積極的に実施する。

②建築積算士(建築積算資格者)更新講習会へ講師を派遣する。

③地域部会が実施する積算研修会を支援する。

④地方の会社へ講師を派遣する出張講習会を開催する。

⑤「ここが知りたい積算勉強会」を継続的に開催する。

◇教育委員会

①建築積算士補の認定事業に伴う、大学・高専・工業高校・各種専門学校等において、当協会作成のテキストによる積算教育導入の広報

と、講師派遣及び試験を行う。

- ②管内地方公共団体等から研修会の講師の派遣依頼要請に応えるために、講師の派遣を行う。
- ③認定校への情報提供と支援を行う。

◇資格制度委員会

本部が実施する建築積算士（建築積算資格者）試験・建築コスト管理士試験及び建築積算士（建築積算資格者）更新講習事業を支援する。

- ①建築積算士（建築積算資格者）試験
 - 一次試験（学科）
平成 22 年 10 月 24 日（日） 昭和ビル
 - 二次試験（実技）
平成 23 年 1 月 23 日（日） 昭和ビル
- ②建築コスト管理士試験
平成 22 年 10 月 24 日（日） 昭和ビル
- ③建築積算士（建築積算資格者）更新講習会
名古屋会場 平成 22 年 11 月 27 日（土）
愛知県産業労働センター
金沢会場 平成 22 年 10 月 30 日（土）
金沢市近江町交流プラザ

◇設計審査委員会

設計審査システムの充実と設計審査制度の活用を広めるための活動をする。

◇データベース委員会

- ①データベースの情報整備及び拡充を図り利用しやすい環境の整備に努める。
- ②ここが知りたい積算勉強会の Q & A を整備し会員へ公開する。
- ③物価版の利用方法についてさらに充実を図る。
- ④積算チェックのノウハウの充実を図る。
- ⑤将来解体時建設副産物（学校建築）のデータ化を進める。
- ⑥コストデータ表を公開し利用を推進する。

◇地域委員会

- ①地域別勉強会を講習委員会と連携して実施する。
- ②新規会員の勧誘を行い、地域部会の活性化を図る

平成 22 年度建設技術研修

講師 西田 彰

愛知県は、県及び市や町の建設部の技術職員を対象とした研修会を開催しており、当協会も毎年、建築積算の時間をいただいております。昨年までは初級者対象の「建築共通基礎講座」でしたが、今年は、上級者（10年程の経験者）を対象とする「公共施設整備実務講座」で、7月23日（金）県庁西庁舎北側の愛知県自治センターで15:20～16:50の90分間をいただきました。このところ40名前後の参加ですが、今年は、56名でした。

話はそれますが、当協会の教育委員会の派遣で、某専門学校の積算授業をいたしました。普通教室に6名の生徒が、点々と位置しています。「真ん中に集まれ」って言いたかったのですが、小市民ですし怖かったので、そのまま授業を進めました。多人数も大変ですが、少人数は、視線の配り方ひとつにしても違った意味で大変です。

今回は、積算のチェック手法を中心にお話をいたしました。多くのお役所から「最近、積算の出来が悪い」と伺っています。積算者側のチェックは当然ですが、お役所の方にも、変だと気付ける力を付けていただけたらということで、いつもより内容を濃くしてお話をいたしました。時間の制約もあり、十分にご説明することもできなかった部分については心残りですが、建築積算のチェックシステムについては、ご理解いただけたと思います。この講義をきっかけに、今までよりも少し「恐持てのするチェックマン」になっていただけることを期待しております。

昨年、このページで態度の悪い一人の受講者の事を書きましたら、さっそくご担当の方からお詫びのお言葉をいただきました。恐縮しております。（余計なことを書いたのかな？）今年も皆さん、暑い中を、真剣に取り組んでいただきました。ありがとうございました。（気を使っております）

平成22年度東海北陸支部役員

平成22年4月23日現在

役職名	氏名	勤務先	職名
顧問	阿部 庄吉		
支部長	小野 徹郎	椚山女学園大学 生活科学部	教授 名古屋工業大学名誉教授
副支部長 講習委員会 データベース委員会	剛谷 智彦	(株)剛谷建築積算事務所	代表取締役
副総務・財務委員長	川辺 清次	川辺建設(株)	代表取締役
副ホームページ委員長 資格制度委員	佐野 洋治	(株)竹中工務店 名古屋支店 FM部	
副支部長 教育委員会 ホームページ委員会	藤井 正王	(株)みどり建築企画	代表取締役
データベース委員長	佐藤 佳久	(有)富士積算	代表取締役
広報委員長	松本 利治	(株)円建築積算	取締役
設計審査委員長 広報副委員長 教育副委員長	西田 彰	(株)二葉積算 名古屋支社	常務取締役支社長
総務・財務副委員長 講習委員会	木原 陽	(株)日本設計 名古屋支社	主任技師
講習副委員長 データベース委員会 教育委員会	山田 治	(株)竹中工務店 名古屋支店 見積部	副部長
講習副委員長 北陸部会担当委員	宮西 繁	明峰積算事務所	代表
講習副委員長 設計審査副委員長	和田 浩嗣	(株)棟建築企画	取締役
資格制度委員長 会員副委員長 データベース委員長	林 進	(株)林積算	代表取締役
データベース委員長 資格制度副委員長 講習委員会	植田 隆明	UDA建築事務所	代表
データベース副委員長	市橋 延也	清水建設(株) 見積部	部長
講習委員長 教育委員会	藤曲 充信	(株)アイピーエス	常務取締役
講習委員会 ホームページ委員会	伊藤 健藏	建築コストサポート	代表
講習委員会	勝野 徹	(株)フジタ 名古屋支店 見積部	部長
講習委員会	山内 善美	(元)(株)青島設計	
資格制度委員長 講習委員会 岐阜部会担当委員 教育委員会	生田 孝文	生田一級建築設計室	代表
データベース委員長 教育委員会	宇野 純也	U. S設計室	代表

平成22年度東海北陸支部役員

平成22年4月23日現在

役職名	氏名	勤務先	職名
データベース委員会 三河部会担当委員	橘 徹	(株)CI東海 性能評価・適合証明G	次席検査員
データベース委員	大田 耕二	大成建設(株)名古屋支店 建築部	参与
講習委員	渡邊 國雄	(株)伊藤建築設計事務所	取締役
講習委員会 三河部会担当委員	山本 喜久	神野建設(株) 建築事業部営業部	部長
データベース委員会 広報委員	堀田 淳二	(株)中建設計 設計監理部	主幹
データベース委員	長谷川 脩	(株)浦野設計 技術営業部	次長
北陸部会担当委員	笠谷 正	(有)富山積算センター	代表取締役
静岡担当委員	三輪 健二	木内建設(株) 管理部積算課	課長
北陸部会担当委員	諏訪 淳	(株)三四五建築研究所	取締役
広報委員会 北陸部会担当委員	松平 久芳	(株)松尾工務店 設計積算部	取締役 部長
会計監理事 (顧問)	杉浦 讓治	(有)CMC建築研究所	取締役
会計監理事 (顧問)	塚田 律夫	(元)清水建設(株)	

平成22年度東海北陸支部委員

役職名	氏名	勤務先	職名
総務委員会 委員会委員	水谷 友彦	若狭工業(株)	代表取締役
広報委員会 委員会委員	桑名利男	(元)(株)日本設計	
広報委員会 委員	吉原 光二	吉原建築積算事務所	所長
教育委員	桑田 隆行	愛知県立碧南工業高等学校建築科	教諭
ホームページ副委員長	剛谷 将紀	(株)剛谷建築積算事務所	代表取締役
ホームページ委員会 委員	小中 利文	(有)富士積算	
ホームページ委員会 委員	西村 洋司	(株)アイピーエス 積算部	
ホームページ委員会 委員	松岡 征紀	(有)エスム積算	代表取締役
ホームページ委員会 委員	知野 見武	(株)アイ・エス・システムズ	
広報委員会 委員	長山 充裕	(株)アイピーエス 積算部	課長
データベース委員会 委員	石脇 誠	(株)アイピーエス 積算部	係長
(岐阜部会担当委員)	松岡 重幸	(有)エスム積算	顧問
講習委員会 委員	小栗 裕重	小栗建築事務所	所長
講習委員会 委員	伊藤 和洋	(株)円建築積算	課長
講習委員会 委員	鵜飼 洋行	(株)青島設計 設計室	
資格制度委員会 委員	位田 勝彦	(株)中野積算 名古屋支社	支社長
資格制度委員会 委員	金岡 文徳	(株)円建築積算	課長
資格制度委員会 委員 (静岡担当委員)	吉開 慎也	(株)アイピーエス 積算部	係長

公益法人か、否か

総務財務委員会

委員長 川辺 清次

本部、各支部の総会も終わり、新しい年度がスタートしました。我が委員会も総務委員会から総務・財務委員会と本部の名称に合わせて名称変更が先の総会で決まりました。

本部の総務財務委員会は昨年度は4回、今年度も6月に第1回目があり予定では年4回開催されます。相変わらず、主なテーマは協会が公益法人になるか、否かである。昨年は前の委員会便りで記載した通り、他の建築関連の動向を見据えて議論を続ける事になった。申請迄残り時間は4年弱、最後の年度は殺到するから今年度中に方向性を決めたいのが本部執行部の考えの様だ。

愛知県内では建築士会、事務所協会がいち早く公益で決定したが、本部（東京）の方は未だ迷って結論が出ていない様子である。学会は一般、建設業協会も一般法人の方向だ。家協会は議論中そんな中で（社）ロングライフビル推進協会（旧（社）建築設備維持保全推進協会）が公益認定された。いずれにしても公益の方が数が少ないとか、ステータスが高いとか、そういう議論でなく、会員にとって資格者にとってのメリットを最重要点として議論すべきであろう。

以上の事にも関連して、平成23年度より会費が半額になる事が先の総会で決定された。半額で更新講習料、登録料が免除され得をする理論で、会員増強キャンペーンを今年度下期からスタートします。“未会員である資格者を会員に!!”のスローガンの元、思いきった減額も会員増強あつての話である。ご協力の程お願いします。勿論、コスト管理士、積算士の認知度向上、地位向上にも併せてアピールしていく必要があります。

これは会員委員会と協力し合いながら推し進めなければなりません。又、現場見学会等も企画しています。何卒、ご協力の程重ねてお願い申し上げます。

会員委員会だより

会員委員会

委員長 佐藤 佳久

政権交代から、1年が経とうとしています。が、政権は交代しても、景気は前進するどころか、維持も出来ず、後退するばかりで、一年ごとになる頭も今度は1年も持たず、8ヶ月半で投げ出す始末、挙句は選挙、選挙で、いつになったら日本丸は前進するのでしょうか。

愚痴ばかりも言って居れないので、本題に入ります。

今年度の会員委員会活動予定ですが、今年も会員交流会を開催します。

名古屋につきましては、例年の会員交流会とは形式を変え、平成22年11月27日（土曜日）に開催される、建築積算士更新講習会の終了後、部屋を替え手作りの、立食パーティーを開催します。

更新講習の疲れをひと時の歓談と、お酒で癒してください。

開催場所 愛知県産業労働センター
（ウインクあいち） 903号室
時 間 17時15分から18時30分
（受付 17時から）
費 用 無料
参加対象 会員、積算士更新講習受講者
（非会員でも可）、支部役員

金沢会場についても、今後計画予定です。



福井・石川・富山の講習事情

北陸部会 明峰積算事務所

宮西 繁

北陸地区(福井・石川・富山)の講習事情を紹介いたします。

北陸地区は、名古屋都市圏から2~3時間の遠隔地に位置するために、最近までの支部(名古屋地区)開催の講習会は、北陸地域の皆さんにとっては時間的な余裕も無く、なかなか参加できない状況でした。

そこで講習委員会では、地域活動の位置づけとして、3年前より福井県建築士会、石川県建築士会・小松能美支部、富山県建築士事務所協会・新川支部黒部地区で、「わかりやすい積算研修会」とネーミングをして、初級の積算を工事種別ごとに、こつこつと時間をかけ、皆さんにわかっていただけるまで事細かに行なっていくこととしました。

私たち講習委員も、日々自己研鑽を積んで臨んでいますので、お声がかかったときは、腕の見せどころです。各地域の建築士会、建築士事務所協会で賛同し御協力いただいた教育広報委員の皆様には、参加者の募集や会場の手配をしていただきましたので、私たちは資料作成に集中ができて大変に助かりました。あらためて御礼を申し上げます。ありがとうございます。今後とも宜しく願いいたします。

積算研修会では、工事種目の中でも要望の多かった工種について、「建築数量積算基準・同解説」を小脇にかかえ、積算のルールと拾いのノウハウを交えて半日間の講義をしています。

参加料は、テキスト代を込んで1500円です。一時間当たり500円の研修会です。そんな研修会も、昨年からは当協会から「建築積算」(現在:平成22年版)「というテキストが発行されましたので、講義内容も標準化・統一することができました。このテキストは、高校、専門学校などの積算教育授業(積算士補取

得)にも使われていますが、相当内容の濃いものだと思います。この積算研修会は、よい成果を上げていると感じられます。標準化された積算教本では、文字も見やすくなり、歩掛表や参考資料などが豊富に添付され好評です。我々も面倒な資料作成に多大な時間を取られることも無くなりました。とても助かっています。

この積算研修会に参加すれば、今までの建築積算士として、聞く立場から発表する立場へと成長していけると思います。「積算士となってコストを扱うようになりたい!」この積算研修会は、そんな最初の一步でもあります。

今までとは逆ですが、名古屋から北陸の積算研修会にどしどし参加して下さい。スケジュール等詳しくは当協会の東海北陸支部のホームページを御覧下さい。



講習会の様子

(追記)

はまだかんじ先生 ありがとうございます。

「建築と積算」の春号での連載記事「八十の手習い」の第一回目を、積算研修会の休憩時間に紹介させていただきました。好評でした。

建築積算士補が全国で255名

教育委員会

委員長 藤井 正王

平成 21 年度から学校向けに積算協会作成のテキストによる建築積算授業がスタートしました。その集計結果が出ましたのでご報告いたします。全国で 13 校(大学 4 校 職業能力開発校 1 校 専門学校 6 校 工業高校 2 校)で実施され、受講者 899 名 受験者 545 名 合格者 508 名(合格率 93%)

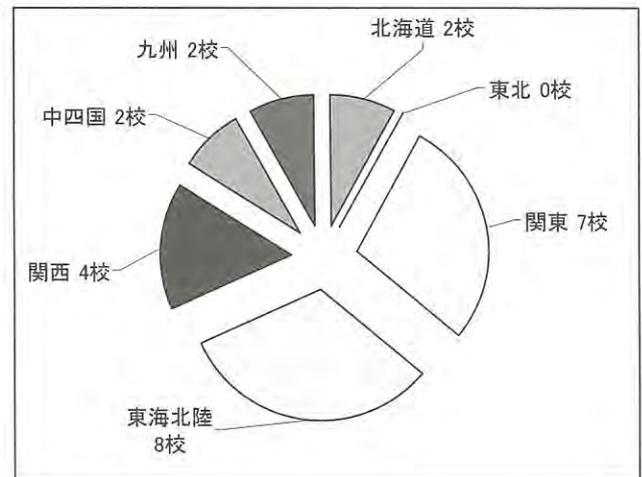
建築積算士補登録者 255 名(登録率 50%)となりました。内当支部は 4 校(大学 1 校 専門学校 1 校 工業高校 2 校)で実施され、受講者 214 名 受験者 190 名 合格者 176 名(合格率 93%) 建築積算士補登録者 48 名(登録率 27%)となり初年度としては順調なスタートが切れました。

平成 22 年度の建築積算授業を行う学校は現在、全国で 25 校の予定です。その内容は右のグラフを参考にして下さい。当支部では愛知産業大学・名古屋造形大学・岐阜県立国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校・東海工業専門学校・都市デザインカレッジ愛知・名古屋市立工芸高等学校・愛知県立碧南工業高等学校・静岡県立浜松工業高等学校の 8 校で受講者は 300 名を超えます。全国的には専門学校が多いのですが短期大学の内 3 校が職業能力開発短期大学校です。工業高校は 3 校でいずれも当支部です。

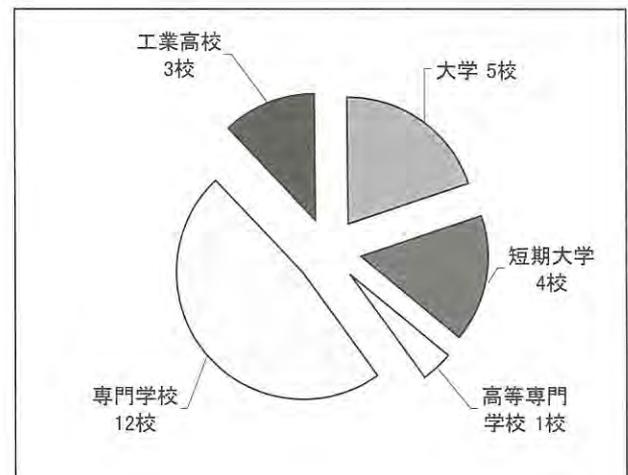
いままで、授業をしてきましたが、改めて感じたことがあります。それは生徒さんが図面に書いてある内容を理解できず、とてもイメージできるような状況で無い事、特に構造図は見たことも書いたことも無い学生が殆どで、建築積算を教える以前のレベルでした。その為授業は建築積算の拾い方を教えると言うより、図面の説明で時間は費やされる事となりました。そこで実技演習は先生に時間を掛けて理解して貰おうと考えました。その為極力簡単な建物の図面

を作成し、拾いから集計・内訳書作成、そして値入までの資料を作り、最終的には経費を入れて、総工事費も計算して一貫性のある積算書を作成しました。

建築数量積算基準の要点や積算で重要なチェック資料も添付しました。さらに別冊で先生用の解説書を付けました。数量を算出した根拠を分かりやすく記載してありますので、先生自身で勉強して積算の実技を理解できると思います、そして何れは先生に授業を受け持って頂けるようになって貰いたいと思います。



平成 22 年支部別実施及び予定校



平成 22 年実施及び予定校

資格制度委員会報告

資格制度委員会
委員長 林 進

平成21年度の建築積算士試験と建築コスト管理士試験が名古屋市の昭和ビルで実施されました。合格者数は建築積算士が44名、建築コスト管理士は4名でした。

平成21年度から始まった建築積算士(建築積算資格者)更新講習のeラーニング(インターネット使った教育形態)更新者は

北陸地域(石川・富山・福井) : 18名
 静岡地域(静岡) : 17名
 東海地域(愛知・岐阜・三重) : 75名
 全 国 : 850名 でした。

更新率は全国で18.4%でしたが、今後は当日都合により受講できない方、会場が遠く不便な方など更新率が多くなると思われます。

積算を日常で耳にするのは天気予報の積算雨量があります。友人、銀行の営業マンなどに仕事をお話すると「積算?」という反応がほとんどです。毎回、同じ説明をすることにもなれてしまいました。建築関係以外の方に積算という言葉を知っていただくことで、積算を仕事としようとする人が増え、会員増強、積算士の地位向上にもつながると思います。PRについてはテレビ、新聞、ポスターなど、いろいろありますがホームページは一般の方には有効ではないと思います。

仕事を聞かれたときに

「積算です」

「ああ積算士ですか」

こんな会話がしてみたいものです。

設計審査委員会だより

設計審査委員会
委員長 西田 彰

昨年度、岐阜県からの設計審査依頼は1件のみでした。先日、高齢福祉課にお伺いしまして、今年度の審査依頼状況を確認してまいりましたが、現状では不明です。今年度から、高齢福祉課の設計審査ご担当の皆さんが交代されました。今年は、さらに厳しいご指導をと願っております。設計審査委員会としては、準備万端手ぐすね引いて待っている状況です。ということで、今回も設計審査とは関係なく話を進めていくことにします。

最近、気になることがあります。それは、挨拶がまともにできない人が多いことです。「お早うございます!」「こんにちは!」「暑いですね~!」「お疲れ様です!」何の難しさも無いと思われませんが・・・目を合わせて挨拶しない。表情が暗い。口ごもって何を言っているのか分からない。無表情であったり無感情であったり。このような挨拶をされても心には響きません。ましてや、「おはようございます」の一言も返ってこなかった時などは愕然とします。

「挨拶」とは、相手と接した時、互いに相手の存在を認め合う儀式のような物で、言葉であったり身振り手振りであったりします。人間関係を円滑にする為には必要不可欠なものです。家庭では、親からの躰けがあり、学校では教育として習慣化されています。ですから、挨拶ができないことが不思議です。

上司に言われたことがあります。「一生の内にも挨拶できる人は100人もいないのだから、挨拶できる人にはきちんと挨拶しなさい。」ありがたい言葉です。

気持ちのいい挨拶は、しても、していただいてもいいものです。どこかのお店ではありませんがスマイル「¥0」なので、言葉にスマイルを添えてのご挨拶はいかがでしょうか。

データベース委員会だより

データベース委員会

委員長 植田 隆明

□ホームページの活用を

当委員会で作成しました各データベースを皆さんの業務に活用してください。その内容について紹介いたします。 アクセス↓

<http://bsi-th.052e.com/datebase/datebase.html>

- [将来解体時建設副産物解体廃棄物数量積算システム (マンション編)]
構造と面積を入力することで科目別の重量 (t) 体積 (m³) が出力することが出来ます。
 - [木造耐震改修概算シート]
耐震補強の部位別に数量を入力することにより概算金額を出力することが出来ます。また、補強方法の図面が表示してありますから工種選定も理解しやすくなっています。
 - [社会福祉施設のデータ]
設計審査による社会福祉施設の坪単価を知ることが出来ます。
 - [コストデータ表]
積算終了時点でコストデータをまとめ貴重な資料を作成して概算算出の根拠として活用することが出来ます。
 - [生コン情報]
各地方の生コン工業組合の情報が掲載してあり、各地方の生コン単価を調査出来ます。
 - [鉄筋情報]
鉄鋼の市中相場の情報が掲載してあり、変動のある単価を調査出来ます。
 - [チェックのノウハウ]
精度の高い数量を確保するため段階的にチェックが出来ます。
 - [物価版の利用法・物価版の読み方]
工種別に物価版利用方法が掲載してあります。
- ※皆様のご要望、ご質問がありましたらメール、FAXにてご連絡ください。

ホームページ委員会だより

ホームページ委員会

委員長 佐野 洋治

プロ野球も交流戦が終わり、各々のリーグ戦に戻り、試合結果に一喜一憂しているこの頃ですが、この号が発行されるころは、リーグ優勝争いが激しくなり、クライマックス・日本シリーズのチケットの手配と忙しくなり、最後に幸せになれるのを信じています。

私も、野球観戦を名古屋ドームから外へ出る事にしたのが、インターネットを検索するようになったきっかけです。

他球場に行くために、主催球団のホームページより、チケットの発売日程を知り、球場のアクセスマップを印刷し、交通機関・時刻表を手に入れ、時には、ホテルを検索して、予約し、連続で観戦する時は、昼間の観光施設・文化施設を検索し予約し、チケットを入手するなど、インターネットにより、机上で手配が出来ようになりました。

パソコンは、ゲームをすることにより、身近になり、こんな時にインターネット (ホームページ) の良さが実感できます。

話は戻って、支部のホームページもだんだん充実し、支部活動が、すぐにはなくても見えるようになり、役員としての資料も大半はホームページにて振り返る事が出来ます。

特に近年は、データベースに積算関連のデータが公開され役に立っています。

講習会はきめ細かい勉強会を開催し、ここが知りたいと思う勉強会を待つようになりました。

皆さん、『積算東海北陸』で検索しましょう。そこから支部ホームページに入って下さい。

支部の状況・積算の手助けができると思います。知りたい事がない時は、急げば電話で、ゆっくりで良ければメールで、要望を出して下さい。それにより、ホームページが良くなり、内容が増加・充実します。サポートは支部全体で行います。

まずホームページで、支部を知って下さい。そこに協会との新しい出会いがあります。

平成22年度講習会予定表

講習会・研修会名	会場	開催予定日	定員
初級建築積算（初級の初級）研修会	名古屋：中統奨学館ビル	平成22年4月21日（水） 10:00～16:00	30
	金沢：金沢市勤労者プラザ	平成22年5月19日（水） 10:00～16:00	30
初級建築積算（初級の中級）研修会 1日目：仕上げ 2日目：躯体	名古屋：中統奨学館ビル	平成22年4月27日（火） 10:00～16:00	30
		平成22年5月12日（水） 10:00～16:00	30
	高山：飛騨・世界生活文化センター	平成22年5月21日（金） 10:00～16:00	30
		平成22年5月28日（金） 10:00～16:00	30
	金沢：金沢市勤労者プラザ	平成22年5月26日（水） 10:00～16:00	30
		平成22年6月 2日（水） 10:00～16:00	30
「建築数量積算基準・同解説（平成18年版）」の講習会	名古屋：昭和ビル	平成22年8月 4日（水） 10:00～16:00	30
	浜松：浜松労政会館	平成22年8月25日（水） 10:00～16:00	30
「建築積算のチェック手法」の講習会	名古屋：中統奨学館ビル	平成22年9月15日（水） 13:30～16:30	30
耐震補強（躯体）の実技講習	金沢：ITビジネスプラザ武蔵	平成22年 7月 3日（土） 13:30～16:30	30
	名古屋：中統奨学館ビル	平成22年 9月29日（水） 13:30～16:30	30
「仮設計画シミュレーション」の講習会	金沢：金沢市近江町交流プラザ	平成22年 7月10日（土） 13:30～16:30	30
	名古屋：中統奨学館ビル	平成22年10月20日（水） 13:30～16:30	30
「企画・基本計画段階の概算」の講習会	金沢：金沢市近江町交流プラザ	平成22年 7月31日（土） 13:30～16:30	30
	名古屋：中統奨学館ビル	平成22年10月 6日（水） 13:30～16:30	30
「建築屋さんのための設備入門」の講習会	名古屋：中統奨学館ビル	平成22年10月13日（水） 13:30～16:30	30
「建築改修工事の積算」講習会	名古屋：昭和ビル	平成22年11月10日（水） 13:30～16:30	30

建築積算士(建築積算資格者) 更新講習会のご案内

・対象者

- ①登録の有効期限平成23年3月31日の方
 - ・平成19年度更新講習修了者
 - ・平成19年度は都合により更新講習を終了しなかった方で、平成20年度更新講習を終了した方
 - ・平成19年度建築積算資格者試験に合格して登録を受け、建築積算資格者となった方
- ②平成21年度の更新講習対象者で平成21年度は都合により更新講習を終了しなかった方

・更新講習会の時期と場所

①金沢会場

日時 平成22年10月30日(土)
13時～17時
場所 金沢市近江町交流プラザ
金沢市青草町88

②名古屋会場

日時 平成22年11月27日(土)
13時～17時
場所 愛知県産業労働センター(ウインクあいち)
名古屋市中村区名駅四丁目4-38

・受講申込みの案内時期

平成22年8月初旬

・手数料 21,000円

建築積算士試験のご案内

・受験資格

【一次試験(学科)】

平成22年4月1日現在満17歳以上の方

【二次試験(実技)】

一次試験の合格者

一次試験免除対象者

(詳細はホームページをご覧ください)

・試験受験申込受付期間

一次試験からの受験者

平成22年6月21日(月)～8月20日(金)

二次試験からの受験者

平成22年9月1日(水)～11月12日(金)

・受験手数料 26,250円(消費税含む)

・試験会場 名古屋:昭和ビル 9階
名古屋市中区栄4-3-26

・試験日

一次試験(学科) 平成22年10月24日(日)

二次試験(実技) 平成23年1月23日(日)

・受験の申込み方法

協会本部のホームページから申込み

建築コスト管理士試験のご案内

・受験資格

「建築関連業務」「コスト関連業務」「責任ある業務」について、それぞれの実務経験年数が必要です。

(詳細はホームページをご覧ください)

・試験

・試験受験申込受付期間

平成22年6月21日(月)～8月31日(火)

・受験手数料 28,350円(消費税含む)

・試験会場 名古屋:昭和ビル 9階
名古屋市中区栄4-3-26

・試験日

平成22年10月24日(日)

学科試験 12:50～15:20

論述試験 15:40～17:40

・受験の申込み方法

協会本部のホームページから申込み

協会本部のホームページアドレス
<http://www.bsij.or.jp/>

平成21年度の試験結果

(東海北陸支部)

・建築積算士試験

①一次試験 受験 12名 合格 11名

②二次試験 受験 58名 合格 44名

・コスト管理士試験

受験 4名 合格 4名

積算業務の大切さを知る



(株)三四五建築研究所
取締役 諏訪 淳

建築積算士になって17年、コスト管理士になって4年が経過しました。私は1年間の建築現場の経験を積み、今の事務所に入社して建築積算業務を主にスタートしました。詳細な建築意匠のおさまりなど知識が多くない中、上司からの指導や図面集で確認をしながら仕上げ、躯体や外構の数量を拾い、設計書作成もおこなっていました。入社したころは、建築積算基準が共通認識されたところで、行政、建設業者や建築材料メーカーの方々と拾い方や単価基準についてかなり議論をしていた記憶があります。私自身、建築積算資格者になったのは遅く、平成5年です。某建設会社の方が切っ掛けでした。一級建築士は取得していたのですが、専門分野での資格もこれからは大切になるであろうと感じチャレンジしました。資格を取得してからは、国の某機関の仕事で信頼を得ることができました。また、設計書の表紙に建築積算資格者の名前と押印をみるとうれしい反面、責任の重さを十分に感じました。今は、企画業務、まちづくりや再開発コンサルタントとしての地域計画担当業務に変わりましたが、今までの経験を活かしながら川上から川下までの積算関係業務に携わっています。

話は違いますが、ここ数年間に事務所も若いスタッフが増えてきましたが、大学等での積算教育が少ないため、積算業務の大切さを知らないのには困ることがあります。時々社内研修をおこないますが、スタッフには協会の積算講習会も数多く開催されていますので参加を勧めています。

最後に、今年度から支部役員として協会に係わる機会を頂きました。自分も50歳半ばを過ぎています。今後の協会の更なる発展に力をつくしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

就職体験

インターンシップを終えて

兼氏 峻介

初めて積算という仕事に触れ、とてもたくさんのが学べた。

まず一日目では、積算の用語や部屋の面積の出し方や壁の面積の出し方などを学んだ。

二日目には、最初に手書きのやり方(10年前までのやり方)で計算書や内訳書を書いた。そして次に同じものをパソコンを使ってやり、今と昔の便利さの違いや正確性の違いが、身をもって体験できた。手書きだと慣れていないせいもあるけれど、電卓を使った計算にミスがあったりして時間が大分かかってしまった。でもパソコンでは、最初に数字を入れるときにミスが無ければ、計算はパソコンがやってくれるので、計算ミスも無く一つのページに打ち込むだけで、そのデータが小分けされて何枚もの紙に印刷される。だから時間も短縮できて手間も手書きよりかからずとても楽にできる。やっぱり今は昔に比べるととても便利になっているんだなと思った。

三日目では、これまでやったことの復習も含めた自習などで、とても自由な1日を過ごせた。

最初から積算に行くことを希望していたのでいけてよかったし、3日間という少ない時間だったけれど、いろいろなことが学べた。





女性スタッフ紹介

(株)二葉積算 名古屋支社
五島 瑞穂

入社2年目の私は毎日が学ぶことばかりです。

構造希望で入社し、希望どおり配属になりましたが、積算は、学校の授業での知識のみ。積算事務所の体系が分からなかった事もあり、入社するまで不安と期待でいっぱいでした。

「地図に残る建物を造る仕事に携わりたい。」漠然とした夢を持って積算業界に飛び込みましたが、右も左も分からない私のはじめの大難関は、頭の中で二次元から三次元に立体化が出来なかったことです。机上で建築物を建てる積算の基礎が出来ないのは大問題。柱一本頭の中で建てる事がこんなに難しいとは思いませんでした。以前、上司に「プラモデルやブロックで遊んだことないでしょ。」と言われたことがありました。なるほど。確かに子供の頃はままごとや人形で遊んでいました。子供の頃の何気ない遊びが創造力になり、大人になって影響していくのかと納得しました。昨年1年間、数々の物件に携わって、難関だった立体化も出来るようになり、今では楽しくなりました。これも建築の楽しさの第一歩かと思います。元々文系出身で数字が苦手でした。今でも得意とは言えませんが、積算を通じて数字で建築を見る面白さを少しずつ知り始めてきました。まだまだ浅い経験ですが、今後、たくさんの建築の知識を学べると思うと、今からワクワクしています。

まだ始まったばかりですが、がむしゃらに仕事をしています。これからたずさわった物件が、一つずつ形になって現れてきます。たずさわった建築物を出来る限り見に行く事が今後の楽しみです。

仕事も大事ですが、身体も大事。今の課題が、日常生活にメリハリを付けることです。基本的に、毎

日デスクワークで、不規則な生活を送る様になり、運動もしていないので、年甲斐も無く疲れやすい体質になりました。この先乗り切れるかが本気で不安になり、何かを始めようと、気分転換を兼ねて週に一度テニスをしています。幼い頃から運動が苦手で、特に球技が苦手でしたが、昨年友人に誘われて社会人テニスサークルに参加しました。その事がきっかけで、テレビでウィンブルドンを観戦し、ミーハー心に火が付きました。「欧州の選手は爽やかでかっこいい」が、やり始めたら、直ぐにミーハーな気持ちは消えるくらいハードなスポーツだと分かりました。やはり、スポーツにしろ、仕事にしろ、真剣に頑張る姿は男女問わずかっこいいと思います。

この季節のテニスは、普段よりもたくさん汗をかくので、ストレス発散になります。一週間座りっぱなしな状況の反動が大きく、日曜日におもいっきり動くため、毎週月曜日は全身筋肉痛で出勤しています。まだまだ下手ですが、週に一度の楽しみです。

積算業務はなかなか上手くオンとオフを切り替える事が難しい事があります。その中でも、女性が積算業界で活躍している事を聞くと、嬉しいし、私も早く一人前の技術者になって活躍したいと言う気持ちが強くなります。建設業界全体でも男性に負けないくらい女性の活躍が増えてきました。今後より一層女性が活躍出来る環境になって欲しいし、私自身働きやすい環境を作っていきたいと思っています。

いつまでも初心を忘れず、笑顔も忘れず、今回書かせて頂いた気持ちも忘れずに、日々成長していきたいと思っています。

「計られた値」

東海北陸支部

顧問 杉浦 譲治

カナ文字大流行のご時勢でもあり、積算の業務内容が広範囲に広がりを見せている中で積算協会の名前を変えたほうが良いのではないかという意見が出たこともある。

積算業務はかって積んで散じることが業務の主流であったことは事実であるが、実はこれが大変な間違いだと言った人がいる。

「算」の第一の意味は勿論数えることであるが、重要なのは第二の意味だそうである。そこで辞書を引いてみると「計りごと」をするということで例としては「打算・算段」という言葉があげてあった。積算という工事費予測の技術は、唯一無二の真実の値に迫ることではなく、「計られた値」を公正に予測するということかもしれないというのである。日々繰り返される建設工事における実績コストはまさに「計られた値」だろう。「計りごと」というものは様々である。発注者・受注者・設計者それぞれに必要な「計りごと」があり、受注者にとっては仕事のウマミとなる場合もあるとすればそれぞれにとって計ることは大事なことでもある。これらの計られた値を予測しなければならない積算技術者の苦悩は果てしない。

勿論第一の意味における「数量を積んで算じる」システムは建築数量積算基準の制定によってほぼ完成されたといってよいと考えられるが、「計られた値」を予測するシステムは手がついてもない。かって支部報か機関紙か記憶に無いが、藤本専務理事（当時 建設工業経営研究会）の次の言葉を紹介したことがある。

「実績コストから適正プライスへ導くメカニズムの研究こそ積算協会の全国組織を挙げて取り組まれる重要なテーマであろうと期待します」

（平成4年5月当会 BEST 誌に寄稿されたもの）

ここで言う「実績コスト」と「計られた値」とは同義語ではないかもしれないが、当時建設業界がいかに適正プライスの把握に悩んでおられたかということ、そしてあえて「全国組織を挙げて」と強調しておられることは注目に値します。全国的に収集しなければならない膨大なデータ量を予測されているからではないでしょうか。しかし、このメカニズムを解析するためのデータの多くは建設業界に蓄積されています。その建設業界からあえてわれわれに提案されたということは、設立したばかりの若いわれわれのアイデンティティの確立のために力を貸してやろうという親心ではなかったかと思います。

前号で紹介した亡くなった松田先生の言葉を借りれば「川上での建築コストの正確さはどうすれば求めることが出来るのかは現在社会が一番要求しているはず。これの追及など積算のプロパーの方向付けこそが協会の存在価値である。」という意味をもう一度かみ締めて地道な研究活動に組織力を投入していただきたいと願うばかりである。

建築コスト管理士の皆様へ

2011年に更新を迎える方のための、CPD単位取得について

2010年

(社)日本建築積算協会 資格制度委員会

建築コスト管理士の皆様には、益々ご健勝のほどとお慶び申し上げます。

日頃は、当協会の活動にご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、2006年度に建築コスト管理士資格を取得された方は、2011年3月で資格登録の有効期限がまいります。資格更新の登録を行うに際し、CPD単位の取得が必要となりますので、以下にご案内させていただきます。

A. 当協会のCPD制度は2006年10月に運用開始いたしました。2011年度の更新には4年6か月となりますが、今回は200単位の取得が要件となります。(ただし、2012年以降の更新は、5年間250単位の取得が必要となります。)また、CPD単位取得の申請は、制度開始時期の2006年10月まで遡って行うことができます。実務実績(年間上限20単位)及び会誌「建築と積算」年間購読(年間上限12単位)における単位取得は、特例として初年度(2006年10月～2007年3月)も年間上限まで申請できます。

B. 今回、なるべく合理的に単位を取得できますように、いくつかの改定を行いました。

以下の取得単位基準(規定別紙一1)の改定は、2009年4月に遡って施行されます。

①会誌「建築と積算」の購読に対して、1年間で12単位(3単位/冊)を取得できましたが、これに加えて、掲載記事のうち「CPD認定記事」での学習を申請することにより、認定記事1件当たり1単位が加算されます。認定記事に関する年間取得単位上限は12単位(12件)で、従って、会誌としては年間24単位の取得が可能となります。

今年度は、4月に遡って以下の記事をCPD認定記事といたします。また、冬号以降については、会誌の該当記事に【CPD認定記事】と記載いたします。

☆ 過去のCPD認定記事

(2009年春号)

1. 「プロジェクトコストマネジメント(PCM)における維持管理コスト」P21
2. 「ITと建築生産」P26
3. 「インデックスコンサルティングがプロジェクト・マネジメントに関する調査報告を公表」P80

(2009年夏号)

1. 「BIMとは」P22

(2009年秋号)

1. 「設計事務所におけるコスト管理とは」 P9
2. 「QS (コスト管理士) は環境問題に対していかなる貢献ができるのか？」 P25
3. 「環境配慮不動産と企業公的不動産の3KP2M」 P32
4. 「IT化の基盤となるCI-NET」 P52
5. 「生産管理の実務体験から見るコスト管理士に期待されること」 P64

②専門書の購読に対して、1冊当たり2単位(2時間/冊)を取得できます。また、年間取得単位の上限は20単位とアップしました。

C. さらに、下記のようないずれかの要件により、CPD必要取得単位数(5年間で250単位、2011年に更新を迎える方は200単位)を50単位緩和する措置がとられます。(実施細則第13条三号・四号)

申請方法については、別途ご通知いたします。

- ①資格更新年度の3月末において、建築積算士(旧名称建築積算資格者)取得後20年を超える、建築及び関連業務の実務経験を有するもの。
- ②資格更新年度の3月末において、1級建築士取得後25年を超える、建築及び関連業務の経験を有するもの。

D. 既に年初より改定されておりますが、本部総会及び支部総会への出席で、それぞれ5単位を取得することができます。

当協会ホームページからのCPD制度への参加登録、そしてCPD単位取得申請については、再度説明書を同封いたしますので、未登録の方は登録を、登録済みの方は単位取得申請を行っていただきますようお願い申し上げます。また、当協会認定プログラム(講習会)へ参加の場合は、自動的に単位が付与されますので、自己申請の必要はありません。

CPD単位の取得状況をご覧になる場合は、実施時期の指定を「自：2006年10月1日、至：2011年3月31日」としてください。

なお、パソコンが苦手な方、ホームページからの登録・申請がうまくいかない方は、各支部宛にご相談ください。アドバイスあるいは代行しての入力等、いろいろお役に立てるようにいたします。

更新時期はあっという間に訪れます。せっかく取得した資格を、うっかりと失効することのないよう、計画的にCPD単位取得申請を行いましょう。

今すぐ、登録と単位申請を！

(参考) 2006年10月～2011年3月までの様々な200単位取得例

- 【1】①実務実績： 20時間（20単位）×5年＝100単位
 ②会誌「建築と積算」年間購読： 12時間（12単位）×5年＝60単位
 ③会誌「建築と積算」CPD認定記事：2009年度春～秋号 9記事、
 2009年度冬号 3記事、2010年度 12記事、合計24記事
 24記事×1時間（1単位）＝24単位
 ④専門図書購読： 8冊×2時間（2単位）＝16単位
- 【2】①実務実績： 20時間（20単位）×5年＝100単位
 ②会誌「建築と積算」年間購読： 12時間（12単位）×5年＝60単位
 ③講習会： 5回×3時間（3単位）＝15単位
 ④実施細則第13条（緩和措置）の対象となる方：（自己申請ではなく、別に届け出る必要があります） 50単位
- 【3】①実務実績： 20時間（20単位）/年×5年＝100単位
 ②会誌「建築と積算」年間購読： 12時間（12単位）×5年＝60単位
 ③会誌「建築と積算」CPD認定記事： 24記事×1時間（1単位）＝24単位
 ④講習会： 4回×3時間（3単位）＝12単位
 ⑤専門図書購読： 2冊×2時間（2単位）＝4単位
- 【4】①実務実績： 20時間（20単位）/年×5年＝100単位
 ②会誌「建築と積算」年間購読： 12時間（12単位）×5年＝60単位
 ③会誌「建築と積算」CPD認定記事： 6記事×1時間（1単位）＝6単位
 ④講習会： 3回×3時間（3単位）＝9単位
 ⑤支部総会： 2回（2009年、2010年）×2時間（5単位）＝10単位
 ⑥本部・支部委員会（当協会、他協会）：6回×2時間（1単位）×4年＝24単位
- 【5】①会誌「建築と積算」年間購読： 12時間（12単位）×5年＝60単位
 ②会誌「建築と積算」CPD認定記事： 24記事×1時間（1単位）＝24単位
 ③専門図書購読： 2冊×2時間（2単位）＝4単位
 ④支部総会： 2回（2009年、2010年）×2時間（5単位）＝10単位
 ⑤本部・支部役員会、委員会（当協会、他協会）上限17単位/年：
 6回×2時間（1単位）×1年＝6単位
 12回×2時間（1単位）×4年＝48単位・・・合計52単位
 ⑥実施細則第13条（緩和措置）の対象となる方：（自己申請ではなく、別に届け出る必要があります） 50単位

意識して行動すれば、200単位は取れます。

今すぐ、登録と単位申請を！！！！

【ご注意】申請は年度毎に行うことが原則となります。

北陸部会だより

北陸部会 笠谷 正

◆ 22年度北陸部会総会

平成22年5月29日(土)に近江町交流館まなびープラザにて開催されました。今回は第8回の総会ですが、恒例だった石川県土木部からの出席はなく、19名の会員だけの総会となりました。

議事の終了後、宮西講習委員の積算研修会がありました。その中で「地域別積算研修会の企画成果について」の説明がありました。北陸部会は平成15年10月に設立されましたが、正会員数は当初の53名から現時点では58名と微増にとどまっています。しかしながら役員、特に講習委員の皆様の並々ならぬ努力・支援のお陰で研修会・講習会の内容が著しく充実してきました。設立当初から会員数の拡大・会の充実を図ってきましたが、その効果は、今後この活動を継続してゆくことによって現れるものと期待しています。

総会・積算研修会の終了後、金沢駅構内の3階“串焼き店”にて懇親会を催しましたところ12名の出席があり大変に盛り上がりました。(今回初めての酒席での懇親会)

今後共、会員の研修・勉強、そして懇親の場を提供していきたいと思っておりますので、多数の皆様の参加をお待ちしています。

◆平成22年度 北陸部会の活動予定

①地域別勉強会(小松市):小松市民センター

- 第5回 5月14日(金) 内外装 宮西
- 第6回 6月4日(金) 建具・ガラス 四辻
- 第7回 7月2日(金) 木工 宮西
- 第8回 8月6日(金) 屋根・外壁の予定
宮西・四辻・高嶋

②地域別勉強会(富山・高岡地域:場所未定)

11月6日(土)～11月27日(土)

「建築数量積算基準・同解説」の予定

・数量算出におけるルールと内訳書の記入のノウハウ

③支部講習会

- 第1回 5月19日(火) 初級積算講習会 宮西
- 第2回 5月26日(火) 中級積算講習会 仕上
四辻・宮西
- 第3回 6月2日(火) 中級積算講習会 構造
高嶋・宮西
- 第4回 7月3日(土) 耐震補強(躯体)の講習会
研谷・勝野
- 第5回 7月10日(土) 仮設計画のシミュレーションの講習会 山田・山本
- 第6回 7月31日(土) 企画段階・基本設計
段階での講習会 植田・木原



講習会の様子

④建築積算資格者関係

◇ 建築積算士受験 学科勉強会

9月11日(土)、9月25日(土)、10月16日(土)の3回予定しています。高嶋・宮西・四辻いずれも場所は未定

◇ 22年度建築積算資格者更新講習

10月27日(土) 金沢勤労者プラザにて

⑤役員会その他

- 第1回 5月29日(土) 近江町まなびー館
- 第2回 8月21日(土) ♪
- 第3回 10月16日(土) ♪
- 第4回 12月4日(土) ♪ (兼忘年会)
- 第5回 2月5日(土) 未定

以上、北陸部会の研修会・勉強会の予定です。

静岡部会だより

(株)アイピーエス 積算部
藤曲 充信

今年も日本建築積算協会東海北陸支部の静岡部会をよろしく申し上げます。なかなか、不況脱する事ができず、悪戦苦闘をしている日々です。皆さんはどの様にお過ごしですか。不況、不況と下を向いているだけでは、何ら解決しません。こんな時こそ、業務改善・コストダウン・社員教育と、やるべき事は沢山あると思います。内部体制の強化を確り固める事と考えます。建設に携わる皆様も、今日出来ることは今日行い、行動する事が明日を創ると思います。いつも同じ様なテーマで大変恐縮ですが、今回も教育委員会と県立浜松工業高等学校の「積算授業」について掲載したいと思います。積算授業の開催日は、9月15日(水)、9月29日(水)、10月6日(水)、10月20日(水)、11月2日(火)の50分授業(8:50~11:40)の授業を実施致します。又、11月10日(水)には「積算士補」の学科試験を行います。年末にはおおよその合否が出ていると思います。生徒皆さんが積算士補に合格し、そして建築に関しての積算や施工に興味を沸く様、創意工夫しながら指導したいと思います。まずは、3時間授業に耐えられる体力と若さに負けない様に、事前の準備(体力づくりと予習)を確りに行いたいと思います。また、私自身も積算授業を通して、建築積算の重要性・正確性を追求する機会にしたいと思います。

静岡部会では、県立浜松工業高等学校に続き、第二第三の積算授業への参加校を募集しております。支部報を読まれました学校関係者の皆様、建築関連の全般的な基礎知識と、建築数量積算基準や建築積算の実演と、積算士補試験に挑戦できる機会を、生徒の皆さんへ是非ご検討して頂けませんか。申請方法などにつきましては、日本建築積算協会東海北陸支部の事務局(電話番号:052-264-0661)までお問合せ願います。

岐阜部会だより

(有)エスム積算
松岡 征紀

岐阜部会の平成22年度総会が、去る4月14日(水)にJR穂積駅前の市橋屋さんで開催されました。

当日は、東海北陸支部の藤井副支部長にご出席を頂き、9名の会員が集まりまして、盛会の内に終了となりました。

総会で承認されました本年度の事業計画について報告を致します。

平成22年度事業計画

平成22年	
4月14日(水)	総会
6月16日(水)	設備の講習会
8月29・30日(日・月)	研修旅行
10月13日(水)	支部主催の講習会
12月15日(水)	忘年会
平成23年	
2月16日(水)	反省会及び23年度事業計画

※積算教室の予定

<時間はいずれも10:00~17:00>
(県民ふれあい会館)

平成22年	
7月28日(水)	RC造 躯体
8月11日(水)	RC造 仕上げ
8月18日(水)	木造住宅・鉄骨



平成21年版

公共建築工事積算基準

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

標準単価積算基準の改正と単品スライド条項、低
入札価格調査基準の運用についての最新通達を
収録!
定価8,500円(税込)

〔平成19年基準〕

公共建築工事積算基準の解説

【建築工事編】・【設備工事編】

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部
編集・発行/(財)建築コスト管理システム研究所

【建築工事編】定価9,100円(税込)
【設備工事編】定価9,300円(税込)
新基準「公共建築工事標準単価積算基準」と「公
共建築工事共通費積算基準」等の運用に役立つ
解説、単価作成例を収録した最新版!

改訂3版

公共工事標準請負契約 約款の解説

編著/建設業法研究会

第11回改正(平成14年2月)、第12回(平成15
年2月)、第13回(平成15年10月)の改正を踏ま
えた最新刊!
定価3,675円(税込)

新訂第2版

わかりやすい建築基準法

編著/建築基準法令研究会

改正建築士法(平成21年5月一部適用)、改正省
工不法(平成21年4月施行)、長期優良住宅法(平
成21年6月施行)、住宅瑕疵担保履行法(平成
21年10月施行)、歴史まちづくり法(平成20年
11月施行)等にも対応!
定価3,990円(税込)

四会連合協定

建築設計・監理業務委託 契約約款の解説

著/大森文彦・天野禎蔵・後藤伸一

設計・監理業務委託契約に強くなろう!
平成21年7月改正の解説書!

定価3,700円(税込)

民間(旧四会)連合協定 工事請負契約約款の解説

編著/民間(旧四会)連合協定工事請負契約約款委員会

工事請負契約にも強くなろう!
平成21年5月改正の解説書!

定価3,300円(税込)

改訂20版

建設業の許可の手びき

編著/建設業許可行政研究会

平成21年4月1日より施行された様式の書き方
を解説した最新版!
平成20年1月、10月、12月、21年4月の省令改
正を収録!
定価2,310円(税込)

建築工事安全施工技術 指針・同解説

監修/国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
編集・発行/(社)公共建築協会

平成19年9月の改正を織り込んで全訂した最新
版!施工中の安全確保の必携書!

定価4,400円(税込)



株式会社 大成出版社

<http://www.taisei-shuppan.co.jp/>

TEL:03-3321-4131 FAX:03-3325-1888
〒156-0042 東京都世田谷区羽根木1-7-11



インターネットによる
建設工事積算の基礎データ



Web建設物価

<http://www.web-kensetu-bukka.jp/>

3つのプランで、より便利になりました。

標準版

50,400円 年間(税込)

「Web 建設物価」の様々な便利機能を全てご利用いただけます。

また、標準版は1つのUSBトークンで最大3人の方が同時にログインすることができます。(月刊「建設物価」1冊付)

簡易版

37,200円 年間(税込)

月刊「建設物価」の年間購読料と同じ割安料金で「Web 建設物価」の便利機能をご利用いただけます。ただし、複数同時ログイン、マイページ、Map サービス等の機能はご利用できません。(月刊「建設物価」1冊付)

単月版

5,250円 月間(税込)

月刊「建設物価」を書店で購入する感覚で、必要なときに1ヶ月間だけ「Web建設物価」の標準版に準じた便利機能を安価でご利用いただけます。

- 1つのUSBトークンで最大3人同時利用可能
- 価格の変動率・変動額を表示
- マイページ登録・ダウンロード可能
- 建設物価Mapサービス(地図情報)
- 「建設物価」5年分の過去データが閲覧可能
- デジタル建設物価(e-Book)
- 充実した検索機能

市場実態調査にもとづく総合物価版

月刊 建設物価

毎月1日発行 / B5判 1部定価 3,799円(税込)
年間購読料(年12冊) 37,200円(税込・送料サービス)

積算業務の効率化に寄与する土木工事市場単価情報誌

季刊 土木コスト情報

年4回(4・7・10・1月)発行 / B5判 1部定価 3,400円(税込)
年間購読料(年4冊) 12,000円(税込・送料サービス)

印刷・用度・管理の実務誌

月刊 物価資料

毎月1日発行 / B5判 1部定価 2,250円(税込)
年間購読料(年12冊) 18,960円(税込・送料サービス)

建築及び設備工事費の情報誌

季刊 建築コスト情報

年4回(4・7・10・1月)発行 / B5判 1部定価 4,600円(税込)
年間購読料(年4冊) 15,800円(税込・送料サービス)

開発元

私たちは建設資材や工事費等の価格調査を通じて社会資本の整備に貢献しています

財団法人 建設物価調査会 情報システム部

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町11番8号(フジスタービル日本橋)
TEL. 03-3663-5170 FAX. 03-3663-5171

お問い合わせ・お申し込み先

販売業務代行

株式会社 建設物価サービス

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号(日本橋府川ビル)
TEL. 03-3663-8761 FAX. 03-3663-1397

積算・見積システム、 作業所コスト管理システム

FKS RC [RC数量積算システム]

伏図の操作性と計算根拠にこだわり、クオリティーを追求

- 計算根拠書を同時提供、公共工事で豊富な実績
- 「伏図拾い」を行わずに「単一拾い」での積算も可能
- 土工事は総堀、壺堀、地下空間体積も自動で積算
- 鉄筋は実長（定着+継手）と定尺換算の算出が可能
- ボイド、機械式継手、定着プレート、カットオフなど最新工法へ対応
- 設計CADデータを積算データへ直接取込（オプション）
- 伏図データはDXFへ変換、施工図や根切計画図として二次利用が可能

FKS FN [仕上数量積算システム]

設計変更、コスト戦略にも威力を発揮する提案型システム

- 自動演算機能と自由な計算式を組合わせた入力画面
- 図面データをマウスでポイント指定するだけで数量を自動計算（オプション）
- よく使用する計算パターンは登録が可能、入力・変換作業を大幅に省力化
- 部位別、科別別の集計画面から直接拾いデータの編集が可能
- 設計変更前後の数量差分印刷機能で変更資料作成をサポート
- 建具積算も標準で装備し、壁、巾木から面積、長さを自動減算
- タイプ別、区分別など一つの拾いデータからニーズに合致した集計が可能

KYOEI

COMPASS [見積書作成システム]

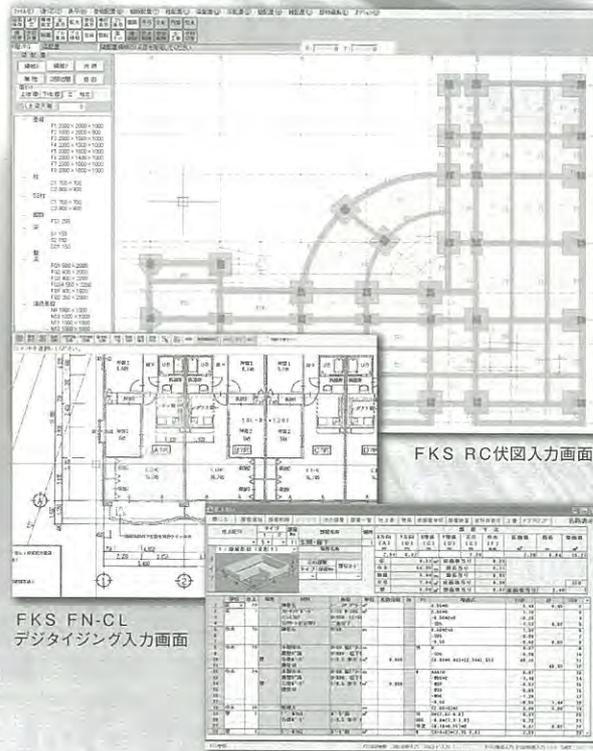
見積業務の効率化を最大限に追求したハイスペックな機能を搭載

- 1つの明細に対して数量、単価、金額が3つまで設定可能
- 提出、原価を睨んだ金額、数量、総額固定のシミュレーションが可能
- 単価マスター自動セット指示で値入作業の省力化を実現
- Excelとの双方向連動機能（計算式付加、シート分割、書式設定）を搭載
- 内訳データの共有化、一元管理で同一物件、同時作業を実現
- 任意な条件で名称、単価を一括検索し、一括セット・変更が可能
- 明細レベルで任意計算式のユーザー設定が可能

KiCS [作業所コスト管理システム]

現場毎の建築コスト低減を目的としたネットワーク型原価管理システム

- 実行予算書作成システム・・・見積データから実行予算データを自動作成
- 見積依頼・業者選定システム・・・電子データによる見積依頼と見積書比較で業者選定
- 発注管理システム・・・発注依頼と注文書を作成
- 出来高・支払査定システム・・・出来高の管理、支払査定と発注残高管理が可能
- 損益管理・進捗管理システム・・・正確かつ迅速に最終利益予想を出力



FKS RC伏図入力画面

FKS FN-CL
デジタルタイピング入力画面

FKS FN仕上拾い入力画面

5つのシステムがKiCSデータベースと連動



建築業務をトータルサポートする協栄産業の建築コストアプリケーション

積算実績比較システム **FKS SJ**

RIBCデータ連動ソフト **RIBC-Link**

リニューアル用積算ソフト



長期修繕計画表作成ソフト



※国土交通省ガイドラインの長期修繕計画様式に完全対応

積算といえば **協栄産業** におまかせください!
<http://www.kyoei.co.jp/fks>

インターネットで

積算 FKS

検索

「積算 FKS」と検索してください

クリック!



エレクトロニクス分野を通して
夢とゆとりのある社会の実現に貢献します。

協栄産業株式会社 ソリューション営業部

Email fks@kyoei.co.jp URL <http://www.kyoei.co.jp/fks>

【東京】〒143-6565 東京都大田区平和島6-1-1 TRCアネックスビル
 TEL 03-3767-2312 FAX 03-3767-2318
 【大阪】〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島3-14-24
 TEL 06-6451-9781 FAX 06-6451-9810

協栄産業株式会社 会社概要

【資本金】31億6,181万円（2009年3月31日現在）
 【総従業員数】1,310名（協栄産業グループ合計/2009年3月31日現在）
 【株式上市】東京証券取引所 市場第1部「商業」
 （社）日本建築積算協会賛助会員 建築積算事務所連合会賛助会員
 （社）日本建築士事務所協会連合会賛助会員
 建設産業情報化推進センター情報化評議会（CI-NET）会員

建設通信新聞

いまを読む。未来を建てる

日刊建設通信新聞社



中部支社
 名古屋市中区錦 3-23-31 栄町ビル ☎ 052 (962) 6421 ・ FAX 052 (961) 8822
 本社/東京 支社/関西・九州・東北 支局/北海道・新潟・北陸・北関東・東関東・横浜・中国・四国
<http://www.kensetsunews.com> モバイルサイト <http://m-kensetsu.jp>

あなたの作成された印刷データのお手伝いいたします。

プリンターやコピーで高いコストをかけていませんか？

大量にプリンターやコピーするなら印刷した方がキレイでコスト削減できます。
 ●オフセット印刷・オンデマンド印刷・他対応 ●目安はカラーで350枚以上あれば印刷の方がお得です。

詳しくは、お気軽にお尋ね下さい。

自費出版承ります。



あなたの
人生を
本にしませんか？

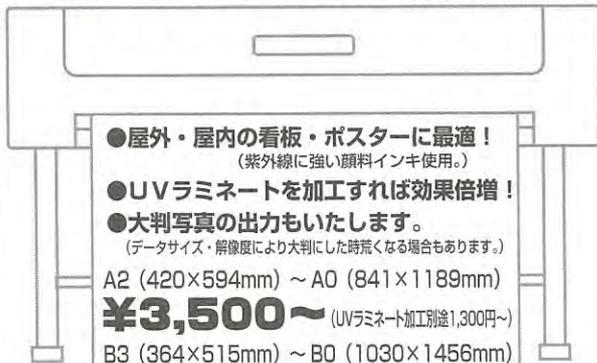
今までの人生を振り返り、今後の人生に生かしたい。
 また後に残る人々に自分の心の中の言葉を残したい。
 あなたの今まで生きてきた人生を本にしてみませんか？

- ・自分史…自分の人生を書きつづけた記録として…
- ・写真集、画集…今までの自分の作品をまとめて…
- ・記念誌…記念日に今までの思い出を集めて…
- ・旅行記…大好きな旅行の思い出をまとめて…
- ・闘病記…自分の生きている証を残すために…
- ・社史…今までの会社の歴史をまとめ、後世に伝える…
- ・文集、クラブの年史…記念日にみんなの投稿を集めて…
- ・歌集、詩集、小説、論文…今までの作品をまとめて…

■ご希望の形にそえるように、打ち合わせの上進めさせていただきます。

大判プリンター印刷

大判写真・ポスター・看板・横断幕・POP
 タペストリー・等々、大判出力いたします。



●屋外・屋内の看板・ポスターに最適！
(紫外線に強い顔料インキ使用。)

●UVラミネートを加工すれば効果倍増！

●大判写真の出力もいたします。
(データサイズ・解像度により大判にした時荒くなる場合もあります。)

A2 (420×594mm) ~ A0 (841×1189mm)

¥3,500～ (UVラミネート加工別途1,300円～)

B3 (364×515mm) ~ B0 (1030×1456mm)

¥3,000～ (UVラミネート加工別途1,100円～)

データ持ち込みの料金です。

※データ入稿の際はプリントしたもの(画像データ)を添えて下さい。

デザインからデータ作成します。(別途料金)

パネル加工も承ります。(イレパネ・ハリパネ)
(サイズによっては加工できない場合もあります。)

あらゆる印刷物のデザインから印刷・製本・コンピューター関連サービスまで
 PRINTING & COMPUTER SERVICE



山田印刷所

☎ 012-012-2992

TEL.0572-68-2992 FAX.0572-68-7417

URL <http://www.ymdp.jp/> 瑞浪市山田町510番地



有松の町並み

編集後記

アイディア！

現在では、PC、携帯電話、エアコン等の便利な電気製品が多く、不便が無い生活が続いています。積算業界に限らずパソコンの利用は大きく、以前は手書き調書及び明細でこの夏場などは特に汗に注意しなければいけませんでしたが、不便が少ない為にアイデアを出して工夫することも少なくなり、いざという時の対応が悪くなっているのではないのでしょうか。

今回からは、古い町並みを表紙に掲載していますが、暑い夏を乗り切る為の対処として昔は色々なものが生まれ現在でも残るものもあります。

不便な生活からアイデアが生まれる。

苦しい状態からアイデアが生まれる。

現在の状況を変えるのは、何を変えれば・・・

皆様も暑いこの夏を乗り切って、今後の対応をお願い致します。

広報委員	松本 利治	西田 彰
	桑名 利男	堀田 淳二
	松岡 征紀	長山 充裕
	吉原 光二	松平 久芳

支部報 『東海北陸』 No.53

発行 社団法人日本建築積算協会
東海北陸支部

名古屋市中区栄町四丁目3-26
昭和ビル 2階

☎ (052) 264-0661 (代)

FAX (052) 264-0662

URL <http://bsi-th.052e.com/>

発行日 2010年8月 吉日

積算業務の効率化に貢献する

TDS Application Series

出荷本数7000本の実績! 明細書作成の超決定版!

Exa
TDS [見積]

Multiple overlapping windows showing detailed cost estimation tables with columns for item name, quantity, unit, and price.

超簡単仕上扱い

TDS [仕上]

Two overlapping windows showing material and labor cost breakdowns with columns for material name, quantity, unit, and price.

業界初! 耐震改修専用の積算システム!

TDS [耐震改修]

Multiple overlapping windows showing specialized cost estimation for seismic retrofitting with columns for item name, quantity, unit, and price.

どんな建物にも対応

NCS / HEALIOS

Software interface showing a 3D architectural model of a building with various data panels and a table at the bottom.

※NCS/HEALIOSは㈱日積サーベイ社の商品です。



TOMODATA株式会社

<http://www.tomodata.co.jp> E-mail info@tomodata.co.jp

大阪本社/ 〒531-0041 大阪市北区天神橋7丁目5-23 渋谷ビル TEL (06) 6351-8452 FAX (06) 6351-8925
東京事務所/ 〒110-0015 東京都台東区東上野3丁目14-7 龍田ビル TEL (03) 5816-7080 FAX (03) 5816-7081